

頌
頌
頌
頌
頌
頌
頌
頌

變化物語。風流之中

卷之三

圖書

ある跡。年俗の事
は。食海。光明。動見。豆類。前田の事
然別。一財。方年
者根。中。元。國。放。脚。力。力。事
先。そ。ま。え。も。癡。一。う。年
通。ク。魯。の。事

卷角
芙蓉

順礼物譜。目録之中

廣雅義印

中興
實錄

庫

ち野。あ脩の事
獲食。津光の事。この夏付ある相鄰の事
武別六浦。一見の事

名根。ももんまひの事
あ圓行脚の事

足てえ。やまと。御。うるわの事
三浦。博ヶ浦。波海の事

見 見えみ
祝礼物語中

○ うちの野。系縫の事。

大師漢佐東山
由公母六角氏
譲り多義書

山の昔。そぞの夫里高穴。弘法大師力地と志

屏山浦人也。め。巣舌もてのくとくとく。あひくとく。流
泉州櫻尾寺。て。りんあひく。あうととく。しづ。言葉の
を。落葉を。と。鳥跡。後自改。加害延。ざ。づ。るや。う。き。め。う。し。虎生。虎。私。乃。夷。山。一。夜。
後十四年進貢。改。え。於。更。五。又。改。え。
字。改。喜。嘉。元。一年。改。え。

大師吳醍醐帝
延喜元年。改。え。
大師吳醍醐帝
延喜元年。改。え。
大師吳醍醐帝
延喜元年。改。え。

氣強力。と。毛。が。今。か。ぐ。く。三。途。の。都。と。と。

十月賜。誠。弘大師。

ひくとある。弘法。もと。北野と見え。多繁
小乃。ごく。うそ。と。びの洞を。あざと
せとく。ある。老。すく。それ年たる。迄。
じぬ山と。ちが。山。うり。とき。じ。ふくと。あ
老。杖。頸。榮。年。恩。う。立。づ。ぐ。ひ。ど。ち。り。ぬ。乃。け。え。に。す。が
死。を。剣。用。ゆ。心。燃。火。物。不。老。家。宿。御。光。院。と。云。寺。小。日
嘆。名。を。老。人。れ。あ。か。り。そ。物。事。多く。付。う。り。往。わ。も。き。や。う。れ。り。く。と
わ。せ。じ。よ。ね。ふ。え。老。今。の。家。宿。御。勝。也。柳。大。師。の。根。か。と
老。を。さ。る。三。樂。の。名。於。家。六。十。代。柳。大。師。於。朝。禪。寺。二。杖。ツ。ト。廣。名。也。
龜五。平。桂。や。法。師。す。と。智。德。也。あ。え。め。の。む
鶴。う。し。後。波。八。千。松。於。朝。禪。寺。二。杖。ツ。ト。廣。名。也。

承。權。化。り。人。ぞ。と。つ。ひ。あ。く。り。せ。り。弘。ト。植
武。天。皇。の。治。宇。延。歟。二。千。三。年。用。申。乃。年
久。乃。け。ん。た。う。一。友。原。貢。往。大。唐。よ。渡
み。ば。每。よ。弘。法。跡。を。と。て。渡。り。り。支。那。と
齋。乃。十。代。德。宗。白。王。帝。貞。元。二。十。年。也。少
年。か。う。是。う。よ。慈。わ。モ。内。大。唐。も。高。寺。す。り。
惠。果。紙。尚。と。中。祖。師。あ。り。密。教。術。無。乃
人。也。三。密。の。法。教。を。沂。く。う。ひ。う。つ。り。は。惠
果。ゆ。弘。法。跡。を。ま。く。去。高。寺。の。奥。義。と。き
い。あ。ゆ。は。惠。果。房。よ。三。十。分。の。御。寺。み。あ

弘法とてす。トシニ齋乃法歎と弘
法。ゆづりぬ。齋恩々。された。館人の
恨を。あら。御。名と。或財。惠果。ありひて
意と。さう。も。死す。弘法。立も。く。何ん
も。ま。と。なま。ま。意と。も。の。んと。ゆき
き。これぞ。幕。を。漏。名。じ。弘法。も。う
く。う。か。た。ま。む。む。よ。づ。き。よ。く。こ
ある。良。有。て。惠果。も。く。ま。と。弘法。よ。な
げ。極。り。ひ。て。の。す。わ。く。汝。ハ。意。と。も。ん
る。藝。と。も。う。る。う。く。ア。ム。モ。五。筋

ひ。意。と。も。う。ん。と。の。い。ま。す。財。惠果。三。齋
乃。漏。を。漏。約。束。も。く。肉。入。す。弘法。を。
意。と。應。と。し。そ。と。件。力。も。く。き。と。
衆。学。同。所。へ。も。こ。め。て。見。り。を。先。明。か。く
く。た。る。三。刀。儀。軌。わ。り。鉢。今。か。が。く
ふ。と。弘法。法。王。山。よ。の。が。り。塵。電。投
落。入。日。中。秋。津。湖。よ。う。じ。ま。る。東。大。寺。よ
鴉。鉢。わ。り。鷺。巣。よ。三。鉢。わ。り。五。鉢。ハ。清
持。物。也。弘法。三。齋。乃。法。境。と。ゆ。づ。り。も。下
ち。事。意。中。や。思。ひ。う。り。重。よ。大。儀。す。る

事とす。と。遂にと。いふ。庵と。寺との
たゞひそく。謂所あ。先も。神か。
学文の及ばず。而も。言の事。ひ。事と。うば。
はと。聞も。と。うき。を。詳り。宣。並。ご
り。野。山。神文。よ。り。く。善人。遍照。も。と
念。ど。一。僧。え。も。皆。山。よ。系。脩。し。ま。ば。
無。能。の。ざ。い。も。や。う。ら。中。よ。め。く。れ。ひ
よ。あ。く。ざ。つ。く。ど。あ。り。も。徳。佛。乃。お。と。傳
と。云。え。わ。づ。が。ゆ。よ。一。夜。あ。ら。ま。と。し。こ。ま。事
あ。づ。く。三。途。乃。が。空。へ。ゆ。く。ど。じ。お。と。あ。ま

ざ。る。人。前。葉。と。悔。べ。と。云。ば。活。山。と。ぞ
ね。戸。活。軍。也。れ。信。教。復。び。下。方。民。よ
到。遠。け。ぎ。乃。駄。と。う。こ。ぎ。り。じ。と。云
ひ。あ。大。師。灵。験。ひ。る。綱。乃。金。あ。ざ。う。
先。年。密。宗。乃。禪。法。寂。と。寂。康。不。名。わ。さ
せ。う。が。又。南。多。重。く。禁。法。を。定。と。う。る
ゑ。れ。山。の。背。山。の。易。く。法。綱。の。類。あ。り。そ
す。道。の。得。分。よ。極。安。一。き。く。其。界。の。範。よ。
強。り。て。坐。せ。や。尊。

高。野。山。底。法。度。

當山十方之古跡坐古法學問次第可有
相續并名室其可所撰碩學之住持別
而兩門是者以碩學之中差量可令住之
就中於有修學懈怠而貪寺欲之輩者以
衆評急友可改替其住持者也

慶長十四年十一月廿一日

高野山金剛峯寺元光中
有之法流也。先年仁也。又重之法流也。

高野山元徒法度

一檢挾職之事自今以後碩學之人者如古

未可爲三千年住持但學流之人者可爲
一千年住持者也其外老若之修學衣
躰之威儀可守先親事

一乍和高雄東寺醍醐并高野五千年寺
役吏流可勒事教之修學之旨弘法之遺
戒仁門徒之間修學嚴初成出可長者不

可亂薦次云云然近年仁和寺高雄東寺醍
醐為本寺之由雖被募其旨遠戒分明上
者法會出住之時門跡僧正之外任戒薦

可有列座事

一寺號院号先親齋不許事也然近年恣稱

寺院甚無謂令停止事

一灌頂授藏之作法或云由緒赤寺或云貪僧結縵取物行客坊輿院木之非抗非學之宿所灌頂曼供之執行無先規由堅令停止事

一天野明神者高野之族守也祭礼神夏惣神主社家供僧守先親不可企新侵事先年定寺法成渡黑京上今度依徳寺社之法度也

右五ヶ一條重而相宜如件

くわびとく。高家家の法事の事とある。いじとく。栗色とく。被りゆひの夜。毛色とく。栗色とく。若ふうて山をびえ。金うくとく。歲たぐ。松枝梢とす。もど。まつら。尾上方雲よひ。と。剣。あり。大師乃。御。風。雅。よ。馬。く。毛。波。や。の。ん。流。人。の。う。

さよ。寺とよ言ひりんままで。神もんのうち
と。うりやうな物あり。或い念佛三昧乃而
も成。往後は持物の如良あり。ござせん。室
の窓もあり。ひらぬれむ室もあり。がん
げう。もうまううき。もやうだう。津去
る。金なくあり。入宣ハ承和二年。三月
廿一日寅の一天乃より。承和十九寅年送
也。七百八十年。一月。うつておもひ。
頂。おじして。徳よ星を覇ぐ。春元く。是
なるまこと。松大同二年。大师。山海經の

前よ。終結。跋文免のちよ。あり。うごま
きと。くさんこと。すげりへ。よ先と。お
よ。もあり。じ雲。枝よ。と。ゆう。かよ。よ世。
弟代を。の。來。うけて。久。も。と。の。活。方。復
も。難。や。吉。如。平。等。の。松。風。八。象。の。巔。と。開
よ。吹。漏。り。活。性。ど。の。うし。の。活。氣。を。八。の
た。よ。曇。ふ。と。て。誅。よ。三。念。の。曉。と。活。こ
く。よ。佛。を。歸。身。成。佛。の。相。と。あ。う。入。宣
乃。地。と。あ。う。そ。し。く。た。よ。興。境。よ。ま。で
つ。三。寺。の。仙。よ。祀。と。活。ま。ら。と。あ。う。そ。げ。そ

アラム。ソリソリ火乃ひのうり。シロガシトモシモテモ
アリト。ソルヘの肝。ヨリモトトモ難也。今
集。ヨリソラガアリ。ヨリモモミエモク。ナカ乃
山。もと。法。法乃。ナリ。のと。ソヤ。ナカ。野。明
神。の。御。奇。カリ。ヒ。モ。ク。代。モ。ア。モ。ス。也。
さ。連。モ。ジ。山。ハ。モ。ラ。蘇。の。モ。ト。シ。の。ソ。モ。コ。リ
ト。紙。ヨ。モ。ミ。タ。ト。ト。モ。ヨ。モ。ソ。ト。モ。ゼ。キ
ナ。ト。モ。カ。ク。シ。ナ。ト。ヘ。モ。後。乃。高。初。ハ。モ。ミ。ヨ。モ
ト。ト。モ。ヨ。ナ。ト。モ。シ。乃。モ。ト。モ。の。教。ハ。モ。ジ。ビ。
殊。ナ。ル。民。ハ。モ。ト。モ。ノ。ヨ。モ。色。哀。の。翁。モ。キ。ノ。リ。

法華經、聖藏、アリキ。立。宿。ト。ヨ。モ。ソ。リ。ソ。リ。法。花。爐。一。寒。ニ。童
妙。庫。華。件。譯。ス。諸。錄。皆。暮。キ。ト。子。乃。た。リ。ヨ。モ。ソ。リ。と。集。ト。ソ。ト。ガ。の
今。は。鹿。八。軸。ト。ス。事。微。卷。序。此。ト。モ。久。の。德。人。お。み。ふ。弘。通。ト。國。ド。ヨ。モ。ソ。統
は。危。八。講。修。行。ヨ。モ。使。ト。ヤ。シ。蒙。受。ト。ヨ。ガ。リ。ソ。メ。ハ。辰。モ。ト。モ。ソ。メ。ハ。
行。ヨ。モ。與。モ。モ。ヤ。ト。ク。ソ。メ。ハ。乃。ヤ。モ。病。ハ。モ。ト。モ。ヤ。セ。ン。ト。
見。ヘ。モ。リ。

能。セ。ト。ソ。リ。ア。リ。モ。ソ。リ。モ。ハ。乃。ヤ。モ。病。ハ。モ。ト。モ。ヤ。セ。ン。ト。
モ。ア。リ。レ。モ。モ。ヨ。リ。モ。レ。ト。〇。モ。ト。モ。カ。リ。
名。ト。モ。ア。リ。レ。モ。ハ。山。洞。ヨ。ク。レ。ト。モ。ア。リ。レ。
ナ。リ。ト。リ。ト。モ。ア。リ。モ。山。洞。ヨ。ク。レ。ト。モ。ア。リ。レ。

椿原は付近山の名めりうて立つてふ
アマツナシ山也。松良もくしきくちの
巣年老えがりてこなすびと。思ふ
付く見るゆきようざまうり。深こがくく計。
タケアリナリ松よ。左のれんづくと見
あよめぬかくの雲の階よりあく月と
アソビ。正月
アモニトテアシガタリ。アソビ。左の
月よだづくまくらりと。アソビ。アソビ
ときひきれり。アソビ。アソビ。アソビ。

この山をゆきよ。左の山もくら
わも。アマツナシ山也。松良もくしきく
の山と。アソビ。アソビ。アソビ。アソビ。
アソビ。アソビ。アソビ。アソビ。アソビ。アソビ。
アソビ。アソビ。アソビ。アソビ。アソビ。アソビ。
アソビ。アソビ。アソビ。アソビ。アソビ。アソビ。
アソビ。アソビ。アソビ。アソビ。アソビ。アソビ。
アソビ。アソビ。アソビ。アソビ。アソビ。アソビ。

○總倉津光明寺。健乃夏の相馬の
足。今。足。足。足。足。足。足。足。足。足。
くじ脚。板舟。舟。舟。舟。舟。舟。舟。舟。舟。舟。

け寺の私室をもるぬままで。住持もあらず。是を
平長時れに。泉翁よとのとく。達長三年。一
寺と達立。より。しもあそら。泉翁山淨光
明もととちと。わるい。河源波乃三月と安
量と。圓山。真聖圓師。極みじよのう。わ
かゆの。んうく。おる。庵あり。大石の塔。お
寺立す。ひね毛と。あく。り。地毛と。毛
庵の肉よ。がごく。え。模三不のうと。え。寺
や。の。く。まわり。水。常よ。も。く。施毛ゆ
り。たゞ。ど。だ。た。め。ある。す。縁水

小色まる。ど。し。ぞ。つ。よ。毛。ぐく。あ。傳
置の満干。よ。ぬ。く。げ。あ。満干。わ。り。未。代。迄
乃。既。て。下。と。い。し。あ。く。う。せ。り。ば。山。ア。ト。よ。中
納。玄。友。原。和。也。高。相。ア。ノ。基。原。ア。リ。は。高。義
と。鄰。人。為。あ。う。高。待。と。作。り。和。奇。高。義。と
承。ト。き。よ。す。う。ア。ア。て。書。ト。か。ア。ア。あ。ね
白。翁。ア。モ。と。く。食。見。高。氏。ア。ト。和。奇。高。義。ア
と。お。禱。ア。リ。され。ど。そ。ら。や。し。く。う。き。だ。ざ
金。ア。の。高。氏。ア。勝。り。ア。れ。ア。高。相。ア。那。ア。と。接。て。福
倉。ア。り。聖。ア。の。あ。と。行。ア。ため。冷。泉。家。ア

居り。武家乃家近不づきつりれ二條也。此
泉邊と。二家よかて。ち乃奥底もととる。
あ相て。故者よ長住。一治。不ぞ故者もとと
やけ。南面にと百首の祿あり。是と本
居百首と居り。唐人書ひゆ。立美と云
也。初とて。うち喜色。や。あををもじめ
とや。わ。ど。げ。さ。色。よ。う。鈴鹿らん。百首が
まし。略。一。作。又。或。双。脣。よ。青。力。走。う。は
食。と。か。く。化。せ。り。彦。多。い。あ。り。上。い。そ
あれ。と。り。前。向。よ。寝。川。乃。入。の。洲。名。立。う

家隆玉嵩
利基
良門
惟正
伊祐
佐綱
光隆
吳玉車

福と。救済付。も。きた。ら。も。山。家
と。不。赤。を。乃。今。も。と。と。後。ち。羽。院。へ。佐。居
侍。後。云。救。済。と。じ。ら。き。せ。乃。ま。事。の
と。と。り。あ。う。り。も。も。と。と。下。の。
も。あ。と。あ。う。り。と。と。連。す。乃。根。深。い
人。全。十二。代。京。行。天。貞。至。十。年。計。治。蘇。被
の。詞。より。が。こ。ま。り。そ。き。と。と。こ。ろ。こ。
考。び。り。い。ね。さ。く。食。す。ど。の。徳。香。も。だ
あ。く。福。モ。瑞。徳。徳。よ。と。う。づ。り。と。う

や。かの遠治二年。徳倉教義よりとある。高
相。や。か。太。目。と。号。一。述。他。あり。モ。後。新
改。云。應安又年。よ。あ。た。め。書。く。ら
ふ。か。と。新。太。目。通。か。と。号。と。ズ。を。後。宗
勅。法。師。宗。道。ほ。く。ゆ。法。せ。く。も。と。ア。と。新
夷。今。案。と。づ。り。ら。ま。と。じ。き。す。ア。え。ま。る。
東。行。天。皇。四。十。年。ト。リ。天。正。十九。遠。平。又
百。十。年。や。ま。う。ア。法。宣。定。く。事。い。達
治。二。下。り。天。正。十九。南。年。迄。三。百。十。六。年。よ

國。れ。と。あ。諸。り。り。し。れ。ば。中。と。も。ス。ら。う。れ
も。う。く。く。ゆ。あ。り。ち。年。五。老。萬。劫。の。り。り
清。水。觀。世。音。之。ア。清。セ。よ。人。云。今。日。勝。日。
清。あ。寺。よ。と。と。て。新。例。ア。キ。キ。ア。ウ。リ
と。り。ア。見。ハ。私。ア。リ。即。く。往。持。よ。ア。ヒ。シ。バ
養。ヒ。と。私。ア。ム。ア。リ。清。水。寺。ア。端。リ。禮。モ
け。ク。ア。清。水。寺。ア。リ。木。木。連。寺。と
号。一。者。ト。リ。ア。内。胸。日。よ。被。ヒ。と。家
族。ヒ。主。權。院。ア。會。取。よ。と。と。く。法。系。ア。家
き。う。の。名。句。よ。あ。う。り。花。つ。を。だ。う。き。

御山寺とせらまき。御えひく。梯段
しげと脇と付り。緑色絹師。本來も一す。自詭
のあくち。ありけるが。延引。後よりあくらし。
今よりとく。清め寺より。毎月。晴日。法事。本
夫を放あり。面十匁。うしろから。とお織せり。
椒又河佛場。と申。女人。宣寂。乃トあり。高家
乃古前。名相の母也。名連々令。ゆこと。本
教院四系。こやと。うろよ。と。高家死を
乃初。うちり。きの。圓綱川。乃庄。と。高家ゆづ
里。と。うきと。高氏。化脇。よりりて。桶飯

セラムキ。アカハル。セラムカ。アカハル。高倉
ト向の。キムカ。アカハル。アカハル。アカハル。
セラムカ。アカハル。アカハル。アカハル。
トカ。アカハル。神。舞。十六。宵。アカハル。アカハル。
ヨウ。宵。アカハル。アカハル。アカハル。アカハル。
トカ。アカハル。アカハル。アカハル。アカハル。
。めぐら。アカハル。アカハル。アカハル。アカハル。
走。よう。アカハル。アカハル。アカハル。アカハル。
無事。書。ため。アカハル。アカハル。アカハル。アカハル。
機。アカハル。アカハル。アカハル。アカハル。アカハル。

書く事ゆ。今うととゆ。那々やかのを
つれむ。かえよ。そろくと。思ひてと。
衣。うまご財。あは。はどやいふと。みゆす
のちひやき。霧も洞えむと。山海角。こ
し。神力。け。あらと。鷦やの肉と見たり。で。昔の
物の。ざれ。が。まくらぬと。かくも。ゆまう。あ
くそ。うつよ。書いく。と。め。と。く。あ。あ
き。物。藝。と。ごよ。うれ。立。と。く。じ。歌。う
りん。わ坂の。園。と。ゆ。や。ぐ。よ。室。た。う。き。今

三。く。ね。藤。な。れ。ど。え。あ。取。く。た。乃。め。て。ぐ。る
く。一。文。と。り。つ。私。と。し。く。と。そ。一。富。名。ら。す
う。あ。わ。か。く。う。か。う。こ。法。と。す。あ。わ。か。く
等。が。日。よ。席。張。の。國。あ。く。と。あ。ま。へ。あ。り。そ
観。私。を。て。書。付。け。よ。あ。ふ。つ。い。わ。づ。ぞ。よ
衆。や。ふ。り。た。よ。ま。ご。と。う。も。も。う。や。え。神
の。ま。り。く。し。う。ぐ。れ。國。清。元。國。と。と。ぐ。岩
い。と。ほ。り。も。う。と。う。と。う。と。う。と。う。岩。よ
だ。り。ゆ。と。あ。う。と。清。ア。と。う。と。う。と。う。岩。よ
こ。と。う。ん。浪。ア。わ。ま。と。衣。つ。く。ま。と。う。衣。と。

ちく書て。まことうは。彌らうを墨よどく。
ありわゆる人のもともござり。とありつづく
ゆれ様也。ひとりやき匂ひなれどある者
かすくよアと。ひひくらんの相も。あらゆ
ゆ。夜もとゞく。夙やとあれど。波く。ねよ無
さりく。なりわらじよ。よそよやも。けん
ぐ。わく秋波のくろ。新きあへ。衰くも。まも。
塞をかくて。古今ノ序の洞を。うらあれて
のりのりきのやすと。糸糸。うーとの絲と。高くも
きよも。ありたり。三教の明神へ。あらうとく。そば

か。あられと。やう教の神のえむ。うとうほ
え。めぐら。まよ。うらり。湯も。くつ。に。うら
。あら。湯坂を。鍛。く。だ。く。あ。まなざ
ふ。や。の水。阿。仏。海。ひ。御。汝。中。用。よ。乃
所。と。う。記。一。あと。像。ト。う。見。あ。り。星
と。十六。年。記。と。名。有。双。角。わ。り。象。毛。を。擔。元
。う。重。う。ゆ。あ。食。ら。ん。ぎ。や。う。大。食。獲。禽
。下。向。む。と。げ。後。古。汝。あ。り。あ。食。ハ。付。く
ま。と。綱。川。方。庄。と。あ。が。あ。う。ち
食。獲。禽。と。く。病。死。や。阿。佛。乃。基。而。あ。相。の。石。

塔。よふありて。たまへ。むすひの神
依り。月。いまと。や。山。と。山。根。相
守。通。と。あ。家。あ。ため。ま。あ。の。下。育
述。作。棺。化。の。あ。人。と。い。し。傳。す。續。後。遺。よ。
之。づ。よ。ま。ふ。ご。う。り。や。室。主。の。根。乃。お。の。れ
あ。ひ。の。燃。た。く。う。ん。新。接。達。よ。ふ。さ。乃。根。や。
も。え。け。と。よ。う。げ。こ。で。そ。た。り。く。ね。思。い
力。累。う。些。一。き。二。首。前。大。納。言。る。矣。よ
め。り。久。前。所。り。あ。く。つ。だ。が。う。ん。じ。く。あ
さ。る。も。う。と。こ。る。而。勅。撰。よ。今。代。か。懷。す。

鷺。風。雅。よ。去。日。射。ア。秋。鳴。鹿。を。ち。く。え
せ。よ。と。ア。ト。ひ。ア。ヤ。ま。く。る。ア。方。と。五。葉。ア。五
く。づ。り。毛。毛。ヤ。そ。り。ん。あ。浦。ア。ソ。ア。ト。ア。
御。あ。オ。ド。ア。そ。く。ば。二。首。ヘ。中。納。言。る。翁。詠。せ。り。
風。雅。よ。是。柄。の。山。の。山。風。の。詠。と。も。そ。花。乃。雪
ふ。び。竹。乃。リ。通。あ。柏。女。の。も。つ。伴。乃。見。や
定。大。納。言。る。対。す。と。と。く。ね。あ。乃。よ。す。
筑。よ。勅。撰。ア。ア。毛。毛。あ。う。り。く。ら。御。金。之
あ。氏。ら。の。わ。の。う。せ。う。の。や。う。く。通。金。之
下。向。獲。河。ア。圓。ア。缺。ア。鳥。ア。士。ア。下。勅。撰。ア

今らまつて二首。乃の和音。さうあらひのむすへ
タク。さうまでたまひやへま。あの秋云よ。
初を身ひく。弓の弓後のまゆもとあ
きら。ふくんばく。云の葉とう。絲ひひと
のびきど。んじまくもとくわ。阿松十六夜
死し。爲強の勢田のあめり。おほぞよ。者
かすす事ある。まご。ひきちの神乃
まふくとどそひる。まよはとえあく
寫す。二首のさよ。たまらの累ぞ懸
く。星うせうの幸に。ひぐどうしあわる。

次
ハ院一宿。かげ。よがり。からくわ。と。ど
もうちの。と。べて。世。る。あ。ゆ。能。う。能。よ
也。じ。と。悪。う。惡。よ。も。能。じ。能。く。能。く。能。く
う。び。人。方。変。寒。翁。ご。る。ふ。ひ。か。作。う。わ
。○。走。別。六。浦。一。見。の。事。
乃。く。今。不。免。民。別。し。た。乃。海。魚。と
一。刀。せ。つ。よ。山。海。の。國。京。比。新。か。う。り。う。り。
荀。總。倉。ね。軍。波。越。海。の。ため。じ。六。浦。か
清。あ。い。わ。別。民。弱。と。う。と。め。者。く。清

作あく。近身よめうれ。海上とく。左
げし待す。まんざら近敷島。右記よか
たるも。思ひからきとおり。時も秋も
空乃來に。篠山乃みま。さうりやん
すまき方巻毛。じゑよもよかうれ。一
毛めでか車す。やじうら。うふことなう。後
山乃え毛。はとひきゆりねほとく。後
名寺乃紅葉ふ。ごどやとらひ。け寺乃
一の院地勝毛。け寺の庭よか
がおりみ葉。一やわらとうや。じくらじ。右

音。うか角く。うち。見とこうとさんま
くり。されと。じまをみゆふ。が。塗
乃通よ。古木の桐。一やわら。一葉もみ葉
せもど。常葉。まぎ
けの桐。右すろくよ。お義せりと。打
〇のめ。方。云の葉つだら。又もあと。獨
ごと。や。それも。老僧。通の角もくに。そ
しご。見とす。藤人。ち。奇。も。じ。と。元
素乃。子。細。あ。知り。ど。と。う。が。よ。紅
と。知れ。う。り。寂。匂乃。う。と。う。が。よ。紅
素乃。子。細。あ。知り。ど。と。う。が。よ。紅

て。それぞ昔。鎌倉中納言高祖の御宿
乃お家と曰ふく。いひて。びりとよ
時々りん山よさるなり。乃もみぢを
こぶざめあひよ。ば廻乃根ねまきせり
とつへを。老僧ゆく猿人へやさしく寺
寺乃古きともせみひうち。じあごよ
匂そりつきあり。高祖。今もすげぜ。
ばぬ乃うとくみひ。晝年。うらけ
根ぬませど。ままよそ。毎年。ひめく
秋とまつ。皆人をとまし。わすれよ。

後御者一人び寺へゐまり。紅葉あらざれ
とす。たゞ。ゆくため小とく。うりもう。ひ一
か乃ゆとく。袖乃時々そ山よさるだ
つとく。されど。紅葉あらせの老人とあは
き。あく。ふる葉の底ゆくやあづよく。ひ
おれ面同あり。ひく。くらむをも葉の
あみぢの。の網と。縫り。うる。昔。け山
乃お葉ひす。かうらう。ばま一本。は

P.こう。よう。うる。うる。だ。うひふううう
を。高祖の。宿。徳。と。詠。す。よ。あづり

一時。ばまくよ思つやう。さへ山里にん
きよみわをす。寺乃處よ。もまきんをも
みぢせどふ。いぐく妙すら詠す。あづ
くべく功成名とげて。凡ちりびくは。秀ひ
とづく。あくま云。まことんド。そ後ハ紅
葉せどと語り。帆乃りとくよ。うつうく見
えく。うけどやう。失ねそまく。う
葉乃紅葉と。ひあく。そり。家殺。よ
ぞ思ふ。かねをの秋乃。又も。じ一平。其
乃角。と。うあり。又昌休。深やく。す

車枝乃。お葉ふとせく。きてうり。それ聞て
いり。あ寺。う乃時代。世人乃達。立ぐ。
り。之。徳。り。治。位。信。て。く。と。良。列。六。浦
の。五。や。全。御。山。様。名。寺。八。千。八。十九。代。名
山院。乃。山。文。承。年。中。よ。わ。ろ。く。越
後。守。正。鈴。後。事。時。の。う。こ。あ。り。か。り
実。時。と。緑。名。寺。殿。と。う。と。圓。山。ハ。審
海。大。和。島。あり。あ。寺。乃。山。名。あ。東。寺
師。慈。氏。り。う。教。率。圓。院。の。教。主。だ。り。
衆。人。く。び。う。と。け。の。傳。度。に。も。き。ば。づ。れ。れ。

色ぐらう。はるの慈悲と。うふううん。
ス徳ゆきのすゑの大悲教主の教起如来河
龍か葉さうの十大尊。前後とうごめ。
左右よ廻まわり。うからせあざやく。
禪の法乃うそく。ゆひと。支拂にじ。
ねぬたへて。被薦成就の後末とある。
よ似うりゆく。もんくよあくと。云氣
わうだうわう。び因よ。仏金利と。あつた
也。是ハ弘法大師。元生もとのため。唐
國より移來。やまととの國家生ゆる。

卷ノ序とがくの元祖相傳にて。伏清
乃がちとす。もとア弥陀院のうし
ろよ。実時忍所とくよ。月輪朗善。じゆく
多情せり。あ界堂。淨海。す。方丈。妙雲
所載一千一百彌陀寺。一切經壹。是ハ
二十四都。五山。と毎よ流。じ幸。ふよ。うり。実
藏。據其時の。息。死。時。ど々。乃。又。息。貞。弘。又。三代。ね
實。數。但。一。平。百十三都。五つ。づき。たうせん。三。南浦。慈。安。事。と。是よ
千四十七卷。是。見行。行。對。也。よ。う。唐。船。付。了。漆。と。三。艘。浦。と。名
ト。よ。う。

御宿と号すもとく祀アゲルて乃なり。あ寺乃の後
とて。人情えきりの院せきは承のれりうひ。
あづよあまやめり。ゆ北と云わぬまふ
ごくらくせ界の教主。後生活津。おの下
んざんなり。実時。あ寺と改造せくる時
の。あさと繪馬と。永も。アセレマ
东よ。あらそ。芸壇。骨牙。庸院。傍傍泥
蜜。泥。身。かよ。儀テ壇。瑞荷のやしろ。あ
よ別院。房。十九院。ねが。き家房。サ四室
き。金塗と。べつど。南。大门。よニ王と。安亞

と。ぞと。今剛力。あ。ちうひ。と。あ。ふ。天竺
よひ。うち。ある。と。あ。ります。うち。の。大
さ。あり。二。を。の。く。ら。う。て。い。く。称。ぐ。く
金。く。を。く。平。仏。の。け。う。が。う。と。ち。も。て。内。前
よ。あ。ん。と。あり。今。の。主。是。な。り。一。佛。薩
の。ち。後。法。可。め。功。德。い。ふ。の。そ。平。佛。と
や。ぞ。と。波。句。と。く。今。剛。力。ら。く。い。皆。富
と。た。と。う。る。力。士。方。ら。う。い。皆。富。よ。般。若。の
の。き。う。と。う。六。十二。の。夜。わ。ら。夢。と。く。ま

金り。浮白坐仙也。もの方復あり。けり。
の宝塔也。と謂ふ。称。塔室戸びくをあ
ら。ふまきの法冰。とて。前儀。とよより。
布薩の鐘。もの傍。供。雲。の。と。あ。ま
す。法會の具。の。老。翁。の。と。あ。ま
と。と。ま。の。妙。と。空。と。も。づ。の。意。乃。が。づ。
す。だ。ら。ま。ち。め。い。死。ひ。よ。あ。ご。ぐ。い。と
諸。佛。乃。淨。土。よ。生。る。高。寺。最。勝。わ。く。な。な
ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。ゆ。
あり。うち。勅。乳。寺。とか。う。と。王。絶。乃。栗。與。を

い。り。り。園。東。寺。乃。裏。寺。う。り。そ。ひ。き。こ。じ。南
寺。へ。多。く。の。表。家。と。く。國。の。帝。下。下。下。下。下。
御。ゆ。ゆ。十。六。君。の。教。像。ハ。祖。月。大。師
の。第。後。ゆ。く。り。軸。を。ゆ。く。げ。ぞ。三。身。絹。の。上
よ。わ。く。り。き。ゆ。く。り。く。ぞ。六。通。第。下。の。後。よ
あ。き。や。く。せ。在。せ。ア。ラ。ク。ん。を。く。と。ド。生。象
の。も。も。有。自。前。也。大。幢。三。十。六。あ。づ。れ。あ。り。前
か。參。數。の。寺。室。极。又。欣。舊。の。と。ざ。れ。わ。り。前
日。よ。じ。く。れ。す。升。の。玉。座。よ。く。金。が
こ。わ。り。り。ご。と。し。日。も。の。こ。き。玉。釣。の。去。宗

皇帝乃どごまあり。楊貴妃本縁とわ
らうて。乃列わるこのえよとくらりあす。
不思議の御事也。今あ寺乃室ねとと
かる今月とかどろへ。寺者さんんりと
稱びかひ寺を室わげくうぞひう
じとさきた。せくぐり。時ううり。教皇の主
教場もと。ももやう。大門の主とくにゆ
よ覗念懸の眼より笑テ是とたあじと。三鱗
示現の身ひよふ。かたううがとうれする。お
よ今ひ身よくち。風よやあきく。う。楊貴

のれううざとく。かうみよ洞をすばすと
被りゆひね。重君しう徳と安。ゲフシと
あ寺乃室物たとねり。感應肝よめのど。
園東夢双の表寺。も難波舟也板又も難
内紹葉のつれみ徳。い名所と教人之を
聞の深山とをして。あれぬひよ。よもく向む
て。よもく。今また。アセテナリ。ひくひく
やうとおもち。付ぬよとじ。まよしあり。裏
あんじうとつまき。今あひかくせたり。

。義根もんじゆの事
乃ひ今。老翁あま。圓心もんじゆと云ふ
ノ如處ともも。義根山とこそえりて。宿
の老たり。旅人あらぬ。義根たんご
とうんと。宿毎よき。ばつもとと。を
きて。前相撲少田家より。伊豆の三宿を
のたかふ。義根の相撲。あらざれ
うえ。しき。義根の相撲。あらざれ
あ。老翁よ。四ト。以前よ。爲としも。ひ
よ下乃の旅人よ。件のばんごと。あらざれ。

ね。後^ぎを。あわまつり。ける綱^{つな}。よ。やだ
んこと。旅人。今。あつて。是と。食ふ。それ。
たのつれや。し。みす。ど。け。未。む。あり
と。稽き。老翁も。件の。たんごと。要て。道
中。あくまでも。あ。び。ホ。跡。す。稽。る
友。あくまでも。ひとり。と。よ。も。う。の。だ
この。文字。と。句。力。よ。と。と。そ。○。ま。ま。ま
は。うちの。ち。力。神を。ま。と。旅。行。わ。う。も
こ。の。ま。の。よ。か。と。は。じ。あ。も。連。旅。あ。う
ら。參。麻。山。金。剛。王。院。ま。緒。せ。う。一。ま。ス。一

らえくたるときを能おの靈れい也。うわむら
よがる山さんと所ところすもとま如まに月つき新しんと
どこと。あら生死きみの海うみ。まんくとそば
うんづうあうをもとくうとえとうひ。
ち文除ぬけ印いん利井りい井いのとくあり。すと。元生もと
けどりののれとくふ付はり。關東かんとう守もり一いち
兵へいト。文惠ぶんえい元年八月廿八日。德倉とくらの軍ぐん。
名根なごよとくほりう魚うおりゆく山さん。瓦
洗あらり。湖こりとよ紙はと。延年えんねと。すいも。
血ち當とうをひつづ。す無むの候まと。と。

浪遊なげゆ爲ため方かた事こと。吉紀よかとくづ。毛恩けいい
ゆりね室むろの前まへ神かみりけ。あめ神かみ。閉へ山さん、滿まつ
内うちと人ひと御ご。安貞あんじやう二年。戊子ごし十月十七日半ま
刻とき。神私かみ私わたくし。圖ず。山さん。の
左さ右う。山さん。小條こじょう食く。龜かめ寺てら。時とき。うつけん。あらうりよ。是ま
毎まい六年裏うへ。とだんそく。あらひ。急いそ。圖ず。防ぼう前ぜん。同どう。親おや。事こと。の
元年鑄うつ金きん。于お。往むか。危き。萬まん。相あ。
相あ。難なん。先まへ。政せい事じ。ト。人ひと。金きん。
世よ。元。軍ぐん。系く。少すくな。確か。政せい事じ。地ぢ。

あらゆる
御祭社よりもく。伊豆乃こうよひづりれ
きげん三勝の社乃うめ。うちかがみたそ
まつり。東乃山。おぐくもくお成り。
ゑつけ。とえ神。さびく。うまつりじね
ハ侍女。國。三勝の大明神。と。う。ひも
と。う。あえ。能因の通。伊与ち。美總。が。食
よ。う。もく。す。う。そ。む。り。そ。げ。う。ゆ。安
早乃天。う。あ。う。か。う。か。う。か。う。か。う。か
ぞ。み。ど。り。よ。う。り。ふ。う。か。う。か。う。か。う。か
ほ。う。あ。う。ま。う。ゆ。う。な。う。ま。う。ゆ。う。ま

アラカハボリ。セミテナサ。首代。う。乃。
あ。が。き。ま。そ。ま。く。あ。も。と。ア。レ。神。ご。こ。の。う
ミ。と。御。ド。ア。ジ。う。り。あ。か。か。な。う。き。じ。げ。れ
ぞ。う。り。と。え。か。ま。く。せ。れ。れ。る。う。か。ド。小。翁
根。の。山。う。ま。萬。よ。う。り。岩。ぐ。り。た。く。き
う。ち。も。く。約。も。な。う。ジ。じ。斗。や。山。乃。山。ト。よ
り。う。ち。く。水。あ。ひ。う。く。た。つ。り。翁。根。の。湖
と。う。行。ス。翁。の。海。た。り。よ。松。祀。と。の。し。よ
の。り。と。ひ。け。く。く。た。う。と。朱。褐。紫。殿。の。豫。

まうとあぐわれ。寝室の龕の源よりあ
めうづ。彌塘の水。写しもの。かく。う
まうとたうりたまき。う。こゑ乃ひと
湯。うづせり。もと。かく。よそ。法綱を
み。此井でよ。今トうりは。風ひ。うづ。あ
いの海の。うづ。あぐまと。神。よさう。そ
とよあり。うき。じあ浦と。がく。む
み。す。か。ま。翁。翁。の。浦。う。よ。む。う
げ。翁。根。の。海。よ。け。え。あ。り。や。二。國。う。け。く
中。み。た。も。う。す。と。旅。ざ。り。よ。す。か。の。と。う。う

かく。海。う。り。東。か。と。が。ま。あ。ハ。伊。豆。の。國。あ
ゆ。べ。多。よ。く。雨。集。い。ゆ。れ。海。と。翁。模。乃
内。よ。く。ら。ま。た。り。げ。税。か。び。つ。あ。板。又。宋
翁。の。け。い。き。し。う。待。よ。ぞ。う。き。下。う。せ。う。み。う
も。う。翁。お。ぐ。ん。根。よ。う。く。う。う。う。う。う。う。う
列。わ。る。よ。か。と。と。假。も。う。り。よ。山。海。二。國。三
國。よ。ひ。ち。う。り。旅。こ。と。す。よ。う。名。而。せ。と。う。う
里。翁。翁。空。と。富。士。い。三。國。の。う。ら。よ。う。う。
た。奇。う。の。蘿。河。の。富。士。と。う。う。翁。翁。根。の。う
海。え。二。國。の。中。よ。も。う。た。相。模。の。國。よ。行。

じづくゆ。小とおとおと。大と付ケ。おのク。ゆ
りうり。又後後接よ。おね根治と。しもと歎く
きと停豆乃海や。奥乃山の海よ。波の下る
凡てとよめり。じき可れのわ邊せり。停豆
乃海名根治より。おんぐ。魚乃小
礁と讀られた。伊豆の國。かの海をす。游
き一つ毛だ。是柄名根治とあるゆ
をり。三筋と引る。落河乃國。游游
て。伊豆乃海。凡ゆ。板又翁根治とある
下也。小田原より行ぬままで。伊豆乃海。大筋

かとて。凡えど。ばす人。翁根治とも。通
らじて。支使へと。おなづか。又お
えと書らざへたら。やと。そぞく。すゆ
人。支と。あかう。人。乃。奇。拘。後。そ。う。な
タれば。奇。の。總倉右大臣。よ。お。義。集
よ。毛乃。せき。おと。う。り。か。ん。や。そ。上。奥。小。鴻
淳。鴻。足。柄。三。鴻。大。鴻。ふ。う。り。と。あ。ア。ド
名。乃。お。下。わ。ま。で。お。え。又。お。え。平。款。集。よ
さ。り。ま。ぐ。と。奥。乃。小。鴻。よ。う。ま。ハ。あり。と。お

やより出でけよ。八重の檻風とよりあらひに簷門
隱波乃め船の溪びよりを御じくらを瀬
引。松又丹後ちを前するをよみだり。勅勒根
よ。わづく。國化被りたれくめふ。一村う
とじ海船ふと諱せり。且柄ハね援。海船
原ハ移阿セ。方暴。とくがこそ。且柄山
よ。あまうる。およそりうりて。あく。船
まと星也移前。就高寺沙孙滿打云。うめ
已。續子裁集旅。す。○隱奥。ひよとほ
鳶毛。ふらく。せき。ゆう。ざの。りそ。ぐぞ

らあしとや町。御せり。浮城の奥引。一石
御さざ乃のう。さざ。○ありれす。三鴻
乃神の家様。たぐくふ。え。めくらまよ
タク。奉。院。屏。事。方。三。鴻。と。傳。り。郭
古今。よ。三。鴻。の。事。屏。と。傳。り。郭
よ。角。じ。竹。の。事。屏。と。傳。り。郭
續。は。携。集。よ。三。鴻。の。浦。の。う。
り。う。ハ。み。や。の。ご。う。ん。ぐ。じ。と。あ。集。よ
記。せ。し。と。新。拾。遺。よ。○。三。鳥。野。や。ほ。う。
鳥。の。鳥。と。し。め。く。船。中。や。○。電。浦。

重文
宣教院天祐大日
天祐一

詠すううううの風流すくともや。とくびと。
古手とそくアヤアヤアヤアヤアヤアヤ
あもあうう。ゆく
きとくわ

○國行脚乃事

乃クハ今弓。西國行御と云う。高秋
長弓上旬乃弓の良弓江戸と云う。か
潤尾弓極圓弓。十七日より付一高と。あるを
弓も弓矢とあらがて。わき弓の筋弓。
本も弓アテ。げきとたて。もや十

○犬弓もあさり。弓矢。箭乃事う。一。
冲乃約取と詠せ。也伊豆新新櫻。よ
都よりえり。弓矢。大弓の。あく。か
けら。弓矢。區みちよ。大弓。弓矢。傳前
叢集。大弓。弓矢。よ。あら。弓矢。子
弓大弓。弓矢。だ。弓矢。弓矢。ととよ
周防。弓矢。弓矢。圓。弓矢。弓矢。弓矢
多々。弓矢。奇色。弓矢。弓矢。弓矢。弓矢
れ。弓矢。弓矢。弓矢。弓矢。弓矢。弓矢。弓矢
心と。弓矢。弓矢。弓矢。弓矢。弓矢。弓矢。弓矢。

爾乃。不と。在前乃。自ら。す。人を居。う。
だ。さき。へ。も。そ。あ。す。人を居。う。
ら。名。と。か。と。や。よ。も。わ。す。人を居。う。
ぞ。ひ。徳。國。と。ゆ。り。て。え。名。前。四。徳。と。
ま。じ。じ。さ。た。わ。よ。ま。こ。と。よ。う。そ
そ。往。す。も。ひ。ひ。た。ど。ロ。し。そ。み。キ。急。す。
き。よ。わ。る。初。ま。び。え。ひ。た。ま。ば。
う。氣。あ。つ。う。か。つ。て。徳。乃。ゆ。と。や。ま。わ。く。
き。そ。と。え。よ。徳。す。能。徳。の。奇。き。の。徳
よ。み。つ。ま。う。り。た。の。ひ。あ。く。も。と。化。せ。

ア。歌。一。徳。徳。と。用。く。す。ア。二。自。徳。と。え。
か。く。す。事。ア。リ。三。め。わ。レ。と。と。よ。ア
も。く。す。ア。四。初。心。心。す。す。も。び。五。ヒ
て。和。う。乃。浦。浪。よ。ん。と。と。セ。仰。く。す。ア
ふ。仰。す。ち。か。す。來。屬。お。ひ。め。あ。く。じ。た。一
句。よ。う。會。あ。き。と。何。事。と。も。廣。く。ひ
ト。付。一。仰。う。是。ふ。つ。乃。徳。と。う。り。も。ひ。と。
御。四。百。乃。見。か。す。一。海。通。の。を。と。付
給。一。仰。う。是。ふ。つ。乃。徳。と。う。り。も。ひ。と。
御。四。百。乃。見。か。す。一。海。通。の。を。と。付
給。一。仰。う。是。ふ。つ。乃。徳。と。う。り。も。ひ。と。

ぐらとだりぐさすりんりひ三ノド 翠日向
大日神ミナミジン 徒ハシ あ神邊ミナミヘイ も移シフ て回カクり。勝

より矢立ヤリタチ の碑ヒ とわざハサワ か

そき深木シモキ ま乃マナ 神カミ 東海ヒガシカイ の旅人トキミン と

誓セイ ひ終シテ とくや。近縁カジン

ああたうと。あ海カシマ の旅人トキミン とちりあわせ
轡カスガ 尾列テヨリ よよれど。海カシマ のをとくの神カミ のちうひ

在アリ 九月クモ 十八日ハチ みよ。海カシマ 之ノ

十里チリ 海原カシマハラ 伊セテ海カシマ て。引ハシム みの波カスガ の匂カニ その。

四日市シロヒタ

勢列セヨリ 日日ヒヒ あま夜ヤマハ と。市立シタツ の

船ボウ のもるく

三重ミヤコ あてかくれる。よもやね日色ヒツキ。旅人トキミン のあつむる。家ヤシマ
石蒸イシマシ 蒸マシ 石イシ とさらまつ。蒸マシ と。市ヒタツ と

三重ミヤコ 自シテ いきつゝとこし。石蒸イシマシ 蒸マシ くこそ。

龜山カメヤマ

古木コモリ 乃ナ 松マツ あり

攀ハシム うづれく年ヒツ の松マツ 龜山カメヤマ す。攀ハシム 你タマ での。

下シテ

鉢磨ハチマツ

草シダ

昨日カツ す。晴ハル の雨ハリ す。まくめ。鉢磨ハチマツ の山サン や。

園北カニベ

十九日付。園カニベ は。店ヤシマ と。立タチ て。り。往カミ ハ。久カミ よ。又アシ あん

二重ミヤコ 大オホ な。ちまく。の。裏アヒタ の。波ハタハタ あ。な。り。ま。

坂ハシ

体シバ の酒サケ とくみく。老シテ が後アヒタ 乃ナ を

二重ミヤコ 越カミ え。巣スズ の。山サン の。も。げ。と。あ。お。て。も。巣スズ と

去カミ 山サン と。山サン の。名ナ が。が。つ。あ。な。れ。と

三里

天地乃ち。ちうけし山の山とよ。雲の海とれ。

水口

みかに祭り思ひあく

名をうきり

三重
秋の風力。この山たるへはづづらす。あはれ水は。
石巻

木日付一扇。おもくめの里と參りあり。しん

とを。草津といふ。す

三重
すくあぐく。石巻の嵐吹送す。草津の方。
草津 三上山

山出岩山と云ふ。いそ

いそ

いそ

ぬけのや。白雲くろの三よゆと。秋色雪ちらる

鏡山

みがとぞやる

墨つとなき。鏡乃山よま下れど。老の姿力。

朝妻

じよてば

むろ山。うれ立雲。よ風。とと。朝妻。あそ

湖海

つるさむす

もしりや。あやてう海の水。と。岩。の。毒。

栗津

山の。の。の。の。の。の。の。の。

も。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。ま。

ゆなと。せの。秋。よけまく。も。栗。ば。の。の。

田上

田上。や。の。ら。く。く。ち。か。し。く。ち。重。ふ。か。

石山

弘誓。汝如海の心を

かえ。お。ま。に。

大。法。仏。の。ち。ひ。ひ。う。と。湖。の。海。の。深。め。ぐ。く。り。

弊田

つゆと傳て、變を今からくもぐらみやつる。
大津 廿日付 宿泊より元一宿

名前をも海にすまとば。

勢田の老翁

善くねども、只あそむやくゆりひ弱き太虎の
寝きのまう

圓清水

あくべで、ゆりあそて又ね坂の園の猿あり
三重 三井寺

おぐ

四里 さくじゆ。志築の浦より夕雲の曉のひきそ
山神 いのちのもり 木幡 きはた
山神乃木幡とこそえてから廟とう也。宇治八幡山。
葛森 くずのもり 来ようく汝とよき、吹ぐ山

伏見

廿二日善よ付

かづ袖とく。小隠とくと廻まわ。あやせん外ほかをせ墨くろ
十二重 ほの圓へり。あゆよゑ。淀河よど。

人ひととちと。何なんととし。従つ河かや。あくふにまま。

は玉を

六里

兵庫

波瀬

雪寄の林とみてく方ほう。至りよううびと。

又あるじと山

は氣のねの者をしてとえ。がもぐりせぬ。
在毛 アマ サ三日付 湯本より三輪の狀す 多とをも

つみへとふのあ陽の三輪の神今もとする
波緋若 カジダマ 日麻若の多 ミサハシタ 波不遠カハシナシタ 玄 カス 村をもる山

みどり山。うそに下りてめ、波どうだよ。あよ在毛と。

八重 ヤシマ 五毛ハナモモ の波れも。まのなまゆひのれ。きげんうち

昆陽 ヤマ 波の鷗立れを

あ空の波の水を拂つこうハ秋カク 小鷗の

春カク 鶴

鶴カク ごとき。波の露を役カミ ひ拂ひひた。

カア乃藤原

四六 トモ ちあく日付

東ヒミツ とまつ。月カニ とく波移。夏カニ とく。

一箭 ヒガタ アマ 西年通

一箭のうそをじとくとれ。波の浦風

十里うそとすのう。のりはまもと。あうせのとすなり。行平石塔立。ゆきひの申がじ。けらまさんもすくも。よどき。如ほれ。東野

四里 ゆうあう。びのうれとく。おりれあら。あら海濱カハシナ あ

えり。 アマ カハシナ

次の角や。波えきづけ。とく。有教。内カニ ふや。あら。 カハシナ あら。山

明石 アマ 備列

ふ島の海の島カニ よううれ。あうわうれ。

トモヤ

金言

あづられめ。あそびのす。風うね。ばく六
風情をもとづくじまとておとづき泊れる。
やどんど。は思ふ。却て今まくやと自高。

自高

の石。し。うれひ。やのゆく。ぞ。づ。ご。破の。

轟くとく

又里

夜に

朝。ほ。け。お。庄。の。山。の。浦。つ。例。よ。び。ま。つ。鷺。

ち。砂

八日。月

十里。ち。む。布。の。風。と。の。雲。聚。散。し。く。ら。わ。ね。と。き。ハ。り。

兵庫

九日。月

ひ。と。よ。う。風。や。ち。よ。れ。ひ。

の。り。わ。ひ。て。き。

輪田。湯。湯。

一里

風。吹。ぐ。し。こ。の。雲。聚。よ。消。き。て。と。こ。と。す。あ。え。

布。引。湖。

あ。と。の。晴。れ。り。や。と。と。く。風。と。雲。と。と。度。ふ。

生田

布。引。の。嵐。

た。ど。り。ひ。が。な。ま。の。聚。よ。離。き。て。生。田。の。嵐。

漆。河。

漆。川。風。わ。く。お。く。ほ。ま。と。生。田。の。も。く。と。

五。河。

松。風。の。う。え。こ。そ。ま。ま。と。五。河。の。里。い。付。

芦。屋。

衣。行。ノ。リ。

芦の瀬の沖乃御事書めども。我往る所。

三大女浦

よそよだかうねめの浦の海中や私。こづれをあひや。

廣田社

子早振神乃めぐみ廣田と。孫のりあはば。
鷲たのまぬ

鷲尾

いづくちく。慈のあや。安らぐ。冬のあらゐ。
阿久刀山アケツマツヤマ。東風の音。

二里

三津

又御陣内候もん

浦の西乃。三年の渡船風をそ。志やせ下波よ。

難波

島あれど。難波よりうりふ元岐シカキ。めぐら、ひそむ。
厄邊ヨガハザ。十日より是よりやまを支政シキジ。ほゆねう。そばに極ヒタチ。

三重
馬マ。尼ニ。邊ヘン。上ウ。のり。水ミ。舟ボ。わらひ。み。

大坂

十日付一篇

一里
あざれ紀アザレキ。波ハ。ゆ。織シテ。河カ。が入ス。海シ。

し

はふ文字と。のよと。そ。昔。半ハ。纏マタタキ。木キ。と

まとうづち。太タ。身ヒ。と。ゆ。れ。お。お。と。變ハ。え。え。と。變ハ。え。と。變ハ。え。

一里

石の井

承仁二甲午年。愚性立すひわくや。ちよこまめ。製鐵
りたう。うそくねれど。秋迦如来傳法輪。高
極至。お門中ふとくらむ。野道風築。ね
う。ごうがつ。石の鳥井乃。窓ひよせよ。蘇國
ふと祥樂。モトサウ

伍者

一里 海人みよの住者すうしゃとて。うめ。蘇さのつつうと。

一里 伊勢いよ 大和やまと 葛隣くわき 日

一里

三國の境さくわとくらむ。葛隣くわきの巖いわ。

據

五童ごどう 級き 十二日付。石佛立しはつりぬ

う。二ノ紀きを國くにとす。ありたぬ。や。さばあ石いしの。
仏ぶつ立たつる。

四里

モコカミ跡たぐげ ちゅせ。猿さるの姿すがす。狂奇

一里 きのぬや。モコカミ跡たぐげ の林はや。木きの猿さるを。
稿こう 十三日付

四里

タナリ善。神かみ使つか送おもてる。風かぜよ。らえととまづれ。
ちふき山ののぐる。雪ゆきのちよ。金臺きんたい。稿こう半はんの霜さ。

一里 け中なかる。ども坂さかのとよ。奈なを。ちよと。是これを。
うち茶ぢ屋やと。そー。上じやう下げ今いま。茶ぢを。う。は。等とう
さ水みずく。坂さかよ。ちよら。家いえと。上じやう下げ今いま。

一里 ちよ野の 級き 十四日付

十六里

木きと刻とき。石いしとす。ああむ。物もの山やま。像ぞうよ。くわく。
十七日じと。大和やまと。戸立とだ山やま。行ゆ。中なか宿しゆく。わかれ。り。う。わ
ああく。お。戸立とだ山やま。と。安やす。わく。と。無む。ト。多た。を。森もり。と。森もり。

は山居所也。古事より大和から布施の郡の。戸立山を、
ともゆる。さきにびあらとくらう。もううともえを、と隣り
あり。さきた。さきにびあらやお車にて。今あくされを。

六里

はテ立山通りをす。ま春を、絶えず、戲倍と我食て。ねす

三東へ。ふのうちにもうみの。月の水とどづきを高

吉野 大和

ひ若跡の。も顧よか。教白多へ。をも梯と。

秋迦山嶺

天の上天が下たゞ。まれひそり。はうとうりしゆ。
天主天ト。唯我獨も。のとね希

待乳

十七日付

天の上天が下たゞ。まれひそり。はうとうりしゆ。

又捉

又常より射して

天の上天が下たゞ。まれひそり。はうとうりしゆ。

布施の

三重 廉り。みつのとれてつうとす。大和の圓う。

辟

谷よわる。在あの名。あよ。夷の。ちり。もの。

やまと

名よたゞ。谷の。辟で。凡あづれ。と。まきの。も。

葛博

葛城乃山よたゞ。びく。浮雲を。櫟と。乃。

七重

も天

三重 白雲の。がくらぬ。岩の。あく。ねども。る天の。あく。

旅とある

初瀬

十八日付

三重 入念。北陸かと。こえて。走ゆる。ひもぐの。後。

小初瀬。寺

二重

二重

二重

四重

一里二十九ノ松ハ社ありアリヤルと右の名也。年とすれ

三勝

三輪の山。往よし。まづなづれ。松ともじよ
重 佐和殿

乃言す。佐和の山に高きあり。事よ
石よ 在あり。すよ。事よ

石と。あり。め。従。あり。れ。す。在。居。寺。は。

二重

布局 神松よ。高の移。と。そ。名の。あ。う。
石と。アラ。乃。神。松。本。え。く。え。移。く。や。高。の。
素良 十九晩付。三笠山と。お。こ。り。り。

二重

あ。ぎ。う。内。り。て。あ。よ。る。心。と。ば。三笠の山。れ
二上 素良坂。う。ひ。り。ま。る。山。う。連。て。ざ。

二重

立園

仰。る。山。れ

散歩。立園。乃。山。の。柏。と。ぞ。初。より。み。ざ。と。う

ち。家

承。か。ん。て。ほ

通。ひ。じ。え。高。よ。け。て。ち。の。高。と。れ。あ。は。

神。南。協

叶。あ。わ。る。高。ふ。ま。び。ひ。く。神。あ。ぬ。の。森。の。木。葉。を

木。下。よ。ま。る。

三室

冬され。紅葉散と。三室山林のま。

~~木津~~ 山林

はあう。も。古藤。わ。ね。

冬ふ。す。

二重
~~兵士~~。たゞ。物。な。も。家。へ。う。家。

~~五水~~

ひあく。弦。や。井。も。五水。の。わ。れ。等。

~~鷺川~~

一重
鈴。ま。て。紀。高。り。と。升。ひ。乃。鷺。川。乃。風。吹。そ。る。

~~長浪~~

廿。日。高。ら。と。昔。より。せ。波。そ。

神。ひ。え。る。

三重
桂。被。せ。つ。有。明。乃。の。ま。ゆ。ま。春。よ。そ。を。取。る。

~~伏見~~

紅葉。と。秋。そ。よ。カ。く。

長。地。乃。も。

三重
絛。萬。せ。つ。季。秋。よ。め。ど。持。て。み。そ。す。も。く。

~~糸~~

十。郎。サ。二。管。付。

○那。良。山。更。拾。り。て。乃。と。大。圓。や。言。葉。の。林。渡。る。

と。に。是。ノ。洛。中。河。外。乃。名。前。因。徳。あり。な。く。

乃。ノ。圓。徳。乃。ひ。ざ。り。繁。葉。川。の。ひ。が。三十。春。

童。よ。氣。り。詠。き。と。舟。ま。む。す。小。舟。勝。と。難。

さ。乃。不。洞。う。び。く。計。也。是。ハ。育。ゆ。あ。る。人。立。

と。き。ゆ。ア。ん。と。同。じ。老。人。立。て。是。ハ。植。氏。天。皇。

守。正。盛。孫。刑。教。忠。盜。御。後。破。

タクビ ザムカノ元中

四三

二二

事院にて三十三月の陽臺と造多々あり。

平一林乃御事ととてゆる。比童信書也。天承元年辛亥三月十三日。法師乃徳法

有祚。貴徳。方人。法義のあんたとある。緒縁。テル。えの。だう。ごく。すんざ。乃神。を志。伏。法皇。感。乃。あ。ま。う。よ。お。乃。陽臺。と。心。乃。ガ。の。毛。ト。ご。の。そ。筋。源。か。ま。ぐ。と。勅。宣。あり。乃。而。礼。領。乃。向。よ。病。悉。除。

身心安樂。と。た。う。う。う。小。う。の。行。で。そ。そ。教。ふ。
ノ。ご。す。く。即。治。中。治。外。よ。ひ。ご。と。一。時。の。局。
よ。治。中。ひ。ん。ど。の。病。者。よ。下。男。女。二。万。三。千。
人。病。愈。た。リ。づ。り。づ。り。と。よ。じ。寺。乃。失。名。と。平。
食。寺。と。名。付。か。い。ち。と。禪。定。法。皇。え。い。ん。
よ。乃。き。を。ち。ひ。高。座。よ。と。し。と。忠。鑑。と。刑。
教。で。よ。け。ん。せ。づ。あ。や。う。び。り。と。け。ん。ち。う。
に。但。る。乃。あ。と。下。う。き。と。う。忠。鑑。ハ。物。不。天。
皇。の。御。未。と。ふ。や。あ。く。中。比。ハ。教。乃。佐。長。
色。う。と。く。御。堪。下。め。乃。ミ。と。伊。勢。乃。佐。

よ後行あり。う。上白主行。御感乃作り。

内うちの昇殿と云ふ。三十石。始く
昇殿と感財忠賢。徳前の國。からとら
まほく。鳥羽院明石の浦。がすみと作
られ。忠賢要く。もろの。舟を明石の
浦。風。波。ぐら。と。よ。と。や。と。
や。され。う。され。重天。大き。よ。御感。も。そ。
や。そ。い。と。金葉集。の。ゆ。ば。の。ち。や
く。あ。し。清。蟹。と。め。男。六。女。色。又
人。あり。近。院。御。仁平三年。參。西。正

月十九日。又。十。又。參。あく。卒。ト。夕。ひ。ね。を
す。月。夜。人。あり。と。新。波。波
せり。あ。た。穿。か。く。も。氣。き。波。世。事。と
が。く。り。う。も。諸。國。一。見。の。徳。す。と。も。と
う。し。ま。の。う。ハ。浪。う。と。御。江。ア。よ。ゆ。う。も。と
う。あ。ひ。り。あ。ま。う。も。ふ。窮。世。事。と。う。能。く
う。や。う。す。事。大。板。又。海。中。里。く。と。
御。す。と。口。と。と。こ。轟。力。ん。を。あ。ぐ。ま。じ。う。と。
正。ル。也。ど。え。る。も。人。の。う。三。三。う。ま。る
す。す。ま。と。と。あ。め。い。め。く。國。多。う。ま。る

トテ人ヒトノ内ナカニハシハシトウタハシハシ乃ノシカシカハ希ヒ有リ
史エシ事エキ前マヘ門モン院エンのノ十トトお夜ヨク紀キ鴨カモのノ長ロハ叫カケル海シマ乃ノ
~~高鑽~~~~之~~。こきくもあひせの人の顔ハタツびとあれ
而テ今イマよいやシテ翁カミのノどろうすすり。言ハシマと
けづらし。西國シガク流フロウ次シキ也イ。

それぞれ堅タケル。ゆくもそくめりざミツメとて
へあひうんダウんどダウ。廣博カウハクのノゆとヒゲと
たヤミうヤミじ。めうとミツメとミツメ。わふげハフゲとハフゲと
さひなそれぞれやハフゲとハフゲとミツメ。わふげハフゲとハフゲと
ともミツメ。わふげハフゲとハフゲとミツメ。わふげハフゲとハフゲと
ど。うちかのねとミツメ。家カミ候カウ。わふげハフゲとハフゲと
いわともかハフゲとハフゲ。木石カミシありとミツメ。お老カミ丈タケル
てハシマ。お分カミの流フロウ次シキ也イ。今カミの流フロウ次シキ也イ
化カミ。身カミのため。しも流フロウ西シガク。アヒトカミも先カミ。腰カミ交カミ
あひもとカミ。腰カミ守カミとミツメの交カミとミツメとカミ。

たる。かく西集本二冊。さうの後大冊合え
十二冊の内よ。見安ス一冊と。にすまつて
え。五百首毛三面首毛もこめべ。さすを
吉後小。脇者。千首より。じうり。半あり。
脇者。千首より。じうり。徳あり。とる
なれど。さううがとうと。千首のやうすも
たゞされ。あくまき。もくす。前もくづくすも
なれ。わたり。ねかけゆ。巻毛あれ角もあれ
え。うううと。あくまき。じうり。ひうじうり
○見て毛。坐ても。殊。一々ぬ事。

乃今。今。ゑ。老。ひ。ち。の。く。あん。ま。や。せ。り。よ。白
河。乃。園。下。ゆ。そ。と。と。か。浪。ゆ。く。川。行。せ。久。ま
千。せ。ぶ。十。二。都。と。つ。大。國。度。う。う。り。わ。う
え。日。か。中。園。下。ま。詔。つ。鳥。ふ。る。く。風。國。國。わ
げ。く。う。ざ。づ。ば。づ。び。板。え。う。す。板。く。多。う。り
。中。に。え。家。よ。東。海。鷦。と。く。有。山。あ。り。
海。と。う。う。ふ。る。す。そ。遠。海。よ。よ。と。さ。ぐ。く。る。は
鷦。と。う。う。ふ。る。す。そ。遠。海。よ。よ。と。さ。ぐ。く。る。は
ふ。り。や。づ。る。と。文。よ。え。ん。え。ど。ば。く。く。く。を。す

も。ううごうよもひひじらあざりてやんまくば
お平王の様にて。大きある基めり。びん様
のをすく果タクガ様のとあるが。あまえをす
けのふるびくと。徳。あ川を。南被よ巣
とうけ。翁山風よひひけ。うぶもくまと
思。翁山ひ。あそもきる。うやぞう。翁山ひ
よ。私あり。百合草。あ太白。翁山。あ
の。翁山。大切付。ひどり。紫覗。あり。翁
根。ね方。被。の。あ。と。ひ。の。ご。た。る。翁山。限
りあり。毛。翁山。ね。翁山。あ。り。げ。翁山。の。翁山

あやと向。室の。翁山。と。翁山。滅天皇。古
宇。高令草。着大殿。じく。退治。と。て。
弘仁七年。丙申二月八日。翁山。と。打立。浦
の。そ。下。や。殺方。被。の。あ。に。翁山。房。と。日
ゆ。院。ら。く。ら。が。沖
が。ぐ。り。い。て。死。邪。居。り。そ。く。と。よ。て。
大。は。翁。じ。浦。の。被。を。あ。され。も。も。ふ。ぐ。り。も。と
り。翁。翁。よ。や。く。と。く。う。よ。う。う。う。だ。よ。君
も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。も。

めとて。かくも。汀あくみどりぬと。が守
らすや。右元より萬さんと。うり。ばるの内
を。ようか。だ。が。ま。す。ま。と。く。み。ち。の。く。よ。さ。ざ。ま。う。り
ね。太。神。廟。行。太。神。と。神。よ。い。り。い。れ。ひ。な。む。へ。ゑ
神。宮。十。八。日。よ。大。神。海。上。と。湯。宿。せん。と
て。か。ん。く。あ。り。た。る。も。る。う。れ。海。宮。あ。く。う。え
う。乃。古。幸。あ。り。そ。財。の。私。よ。納。と。と。く。る。大
神。乃。候。の。ら。先。ほ。そ。セ。湯。主。を。あ。づ。と。う。ん
す。ざ。た。づ。き。と。ゆ。る。首。奥。別。六。十。室。郡。内
武。士。用。曹。と。た。つ。と。る。よ。素。と。こ。を。さ。う。つ

生。太。神。乃。活。老。の。湯。宿。せ。り。よ。う。年
と。お。も。例。も。う。な。か。ん。く。と。老。人。く。る。と。と
か。よ。う。ひ。○。ま。ん。う。い。が。宿。を。ち。る。う。乃。の。あ
海。を。つ。り。あ。ざ。と。ま。と。く。み。ち。乃。く。の。山。と。樹
寺。と。じ。き。ら。わ。が。ん。と。と。そ。よ。そ。と。も。よ。と。し
う。う。わ。す。う。ま。た。げ。集。わ。の。影。う。よ。海。す。
記。」
記。」
記。」

○三浦隊ヶ嶋へ渡海の事

乃。今。三。角。の。隊。ヶ。嶋。へ。渡。海。の。事。
な。れ。東。あ。サ。町。往。ふ。づ。横。う。ア。ジ。う。り。

母の致意。世ようえ。諒矣。なり。承り。前より
目録とあひて。二面よ。此へ。ゆる。された件
乃後山の趣真。あり難く。か。事より。早め
新後後送。や。か。夕よ。さんま。も。あそ。あま。便
を。浦。より。きの。波。海。山。と。宿。せ。え
じ。き。よ。た。ぐ。と。お。い。か。ら。り。び。海。の。眺。山。西
時。づ。き。と。ち。り。す。こ。り。ひ。あ。く。も。き。た。中。よ。え
ゆ。春。の。海。色。山。の。花。盤。ふ。云。ま。も。と。よ
も。ま。ど。第。乃。り。色。藍。と。な。う。じ。ど。げ。薰。風
す。よ。わ。く。春。三。け。ま。み。の。ん。の。も。の。こ。づ。

遠く。淳。立。雲。の。ご。と。く。極。今。し。三。春。乃
と。こ。と。り。き。う。と。さ。く。青。り。よう。き。つ。一。日。の。多
か。る。こと。と。と。つ。す。お。ん。が。云。ま。と。り。も。され
たり。い。の。あ。る。も。心。下。き。こ。え。搬。ケ。海。て。ま
らん。と。ま。徳。老。あ。小。年。よ。ね。春。あ。と。り。下。
て。八。後。山。の。家。接。花。よ。る。や。意。ら。ん。ま。の
や。毎。よ。往。と。く。ひ。く。詩。と。う。そ。づ。き。さ。と
ど。す。ま。う。と。吟。じ。ぐ。食。あ。り。様。あ。と。う。ふ
ひ。家。后。して。家。竹。の。移。と。そ。く。舞。系。あ。と。う
ざ。る。風。あ。り。醉。と。と。か。く。今。や。う。わ。と

ううとらうあくのとくをあり。山腹岩根と
ううどりて。ううとすまく朋友とね
も乃風俗よ。ふとくく人をあり。ううと
まくへ月とううざ。まくひこすらどふをわ
むすのが家元。ハラドモア元の。ううと
ううたぐひす。ふとくゆうもやうくとえ
りとわぬた作ひ。花乃枝よ。だんざくと
まくじうくも。ううとえり。ううと
乃。あもえん超真。おびく争みえの。ご
し。あれ平。ううとめわき。老翁男女。

玉簾。簾夢。とけまんとく。海島へそり下
り。のり。わく。面面やけん。山乃のむのむ
絶。うる舞。舞。はぐらと。花籠。と。も。ゑ。よ
う。う。げ。り。の。う。り。右。あ。よ。お。び。つ。よ。花。の。く
う。う。ね。う。そ。う。り。右。背。の。山。乃。う。や。た。え。よ
う。と。と。被。せ。り。原。成。よ。ほ。く。ご。あ。す。ど。右。
左。ま。ぐ。う。り。あ。と。と。わ。り。板。又。考。人。研
究。か。く。乃。超。真。よ。う。づ。や。轟。も。と。や。じ
く。も。す。か。よ。う。づ。り。ぞ。轟。ご。く。と。や。り。ひ
け。が。う。感。統。ふ。う。づ。と。の。海。土。の。簾。う。ど。入

ふとて。しもみて。袋のやうふ。あみたる。す
づき。あく。くると。めざして。つよ。それなが
今集よ。ことうづ。の。儀立あし。後葉
けじ。めざして。ゆきとふ。沖ノ。あま波と
波せり。波眼つづく。めざして。ゆきとふとふ。
めあまくらと。注せり。教長ゆき。めばじ
とくめあまくらふわきと。沖ノ。あま波と
えくせ。きろ。あ。あくさ。の。演。見。ひろ
よ。浦太。あめざして。がと。あゆ。せじ。げきのふ
え。めざして。がと。あゆ。せじ。者。と。かく。き

たりと。ま。強。よ。奥義。ね。よ。めざして。
遼乃の。ま。ち。と。く。と。おと。入。る。轟。よ。
竹。あく。く。あ。り。是。一。宣。や。と。祀。せ。あ。又。水
従。よ。さ。や。う。乃。入。れ。と。そ。並。よ。う。つ。と。そ
う。く。う。と。あ。り。げ。あ。従。变。し。ぐ。う。轟。よ
う。が。い。へ。海。人。を。山。人。え。り。と。あ。る。め。ざ。し。る。あ
は。か。く。ど。今。乃。そ。の。人。ハ。繩。あ。く。あ。る。と
る。と。じ。ふ。され。じ。蘆。と。こ。を。和。布。と。え。と。改
革。乃。是。名。せ。し。う。あ。か。ん。あ。う。こ。松。た。唐。

よあり。右今よ。ひ附ハ南乃風ナリ。う紀
海旁ノ。もく涼。芦乃庭の室と室裏
詠。せり。玉毛づく簾。じとづるま。だ。じく。後
日。海簾乃中。もくとくとこもと云ねあり。
也。信。よび。ト。もくとく。伊勢。わ。詔。よ。簾尾
簾。と云ね。とや。とく。訓。さ。あ。よ。の神。と
り。もと。そ。た。ま。され。を。皆。人。被。す。お
あて。思。ひ。く。力。ひ。あ。く。に。耳。苔。あ。苔。つ
じ。色。あり。岩。よ。ぬ。け。く。ふ。よ。そ。ぐ。の。扇。も。お
こ。だ。い。ひ。う。よ。え。あ。り。漫。乃。ま。被。よ。打。す。

手。拂。貝。千鳥。貝。美。乃。貝。と。ひ。う。よ。あ。り。
も。も。と。そ。と。所。よ。打。れ。そ。一。尺。そ。も。下。う。あ
と。荷。毛。あ。り。あ。よ。ナ。ま。き。ア。ラ。ジ。キ。カ
禪。い。ち。か。の。應。乃。貝。抱。と。び。ぞ。ひ。て。張。了
あ。が。く。毛。あ。り。あ。下。乃。あ。そ。み。ふ。こ。そ。り。よ
く。と。そ。家。乃。放。あ。ひ。く。こ。か。入。金。そ。ト。セ
て。た。う。わ。ま。う。け。綱。と。く。の。網。を。そ。も。よ
お。そ。真。と。そ。り。ね。と。わ。く。そ。い。朋。友。と。鷺
貞。と。な。と。そ。と。而。而。う。ま。あ。さ

南浦の紫東名卷乃漆たる者東あへ津臺
も。旅泊の廻船賣船。無良家せどと云
す。あ。さき總とひてかゝる事あれど。京
もそ。宿ちるともをわり。浦乃面と力と風也。
此風。帆とあげ。くよげみち。かあわ
P.序。帆よれしくあもわり。浦ケ渡と。陸
と乃ありひよ。大漁。あら。也。三十町も
やまうん。あた。東あ。けら。じ。船。ふ。と
もやめ。さす。多。船。數。も。ど。被。又
入。船。根。乃。う。り。く。る。約。と。た。く。も。あ

P.綱引しづるをわり。海うすい。豊浦
里。すぞ。え。す。え。く。り。い。そ。う。あ。り。の
す。み。ひ。し。あ。で。く。と。え。前。く。よ。が。を。や
ん。よ。お。く。れ。あ。の。浦。と。通。教。付。き。る。浦
海。よ。こ。と。あ。づ。じ。や。と。思。ひ。も。り。三。浦
三。浦。乃。久。流。ハ。セ。よ。こ。え。た。る。者。待。人。う。今
綱。引。鴨。長。明。東。國。修。行。南。北。一。尺。六
建。曆。え。年。九。月。上。旬。の。附。り。浦。綱。引
と。縫。せ。り。び。浦。の。致。多。あ。ご。こ。と。す。ま
す。前。す。向。縫。と。あ。げ。三。布。記。一。ゆ。り。今

是と一風のうせやうあうぞ。徳少元あ多
うべ。おぬうも前より渡り。傍まで晴
る早め秋。物をあはす。よし。海あと立
られ。船会わ軍。宿。波満らしく。活
益。魚。竹。暮。宴。醉。としこめ。寄奇。弟。系
乃。涉遊。の。金。い。と。ぐ。ば。安貞三年
己丑二月廿一日。は岸。よあて。伊豆の國。立
湯山の。停。ま。傍。三。湯。來。え。方。下。よ。と
よ。と。と。と。松十艘。の。あ。と。う。う。あ。活。活。海。
浦。浦。と。脅。脅。せ。め。す。浦。浦。方。波。以

復何乃前司。ひひて。古。う。う。と。ゆ。よ。う
て。せ。件。乃。う。ま。へ。も。や。う。ど。ん。歎。と。あ。と。よ
そ。り。い。ハ。タ。功。乃。ひ。り。よ。も。う。。俊。あ。乃。
勢。と。晚。浪。乃。か。ど。き。と。く。よ。き。と。上。強。日。活
活。法。あ。り。跡。よ。跡。き。の。活。活。の。う。と
り。ひ。種。壳。ク。ん。御。肝。よ。め。つ。と。無。弊。乃。ざ
い。ち。や。う。忽。め。つ。も。る。う。と。見。た。う。と。と。
ま。我。躬。ハ。あ。也。乃。も。ひ。よ。え。と。見。た。う。と。と。
ど。る。が。日。城。と。名。付。あ。ん。げ。く。三。浦。活。
南。海。と。う。あ。う。う。び。か。あ。あ。う。と。海。と

えく。すこして相波一つよもよか。
沈く。食つたら眺や。せようとまつ毛誠
よ。南方。じ。世事。もとをうるさり。あ危
毛げ。東風。鳥感。乃。あもうちふ。三浦。傳
や。南の海。乃。千里。すゞ。じ。うの。は。立
け。ぐらんと。口。じ。も。く。旅。乃。く。を。な。ぐ
さ。く。わ。り。

順礼物語中之終

110X
157
3